



バーコードリーダー

Cylock Libre ALX-2100X

設定ガイド

Rev 1.3 : 2022 年 6 月 9 日

改訂履歴

版数	変更内容		改定日
1.0	初版		2017/01/31
1.1	システムに関する設定 リアルモード SPP および HID 通信に関する設定 バーコード読取りに関する設定 付録 2	HID モードのペアリング登録要求機能追加 +/-キーによるバーコードスキャン機能追加 スキャンモード 連続読取り 4 追加 アドオンコード初期値変更 定期刊行物コード(雑誌)設定追加 キーコード追加	2017/07/21
1.2	状態通知 設定 WEB ページ バーコード読取りに関する設定 その他	LED 点滅間隔の表現修正と注釈の追加 WEB アドレスの訂正 先頭桁切捨て・および後尾桁切捨て設定追加 誤記修正	2020/05/28
1.3	内容更新	製品 サポートセンターの電話番号を更新	2022/06/09

はじめに

このたびは、弊社バーコードリーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では、バーコードリーダーの機能および設定方法についてご説明しております。

運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。(日本専用モデル)
本機は日本国内で使用する仕様となっており、海外の規格には準拠しておりません。
よって、海外で使用された不具合につきましては、当社はその責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障や修理・その他取扱いによって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に係らず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
不具合につきましては、当社はその責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点がございましたら、弊社営業部、製品サポートセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

営 業 部 : 03-5432-7231

製品サポートセンター : 050-3193-1935

受付時間 9:00~17:00(土日祝日および休業日除く)

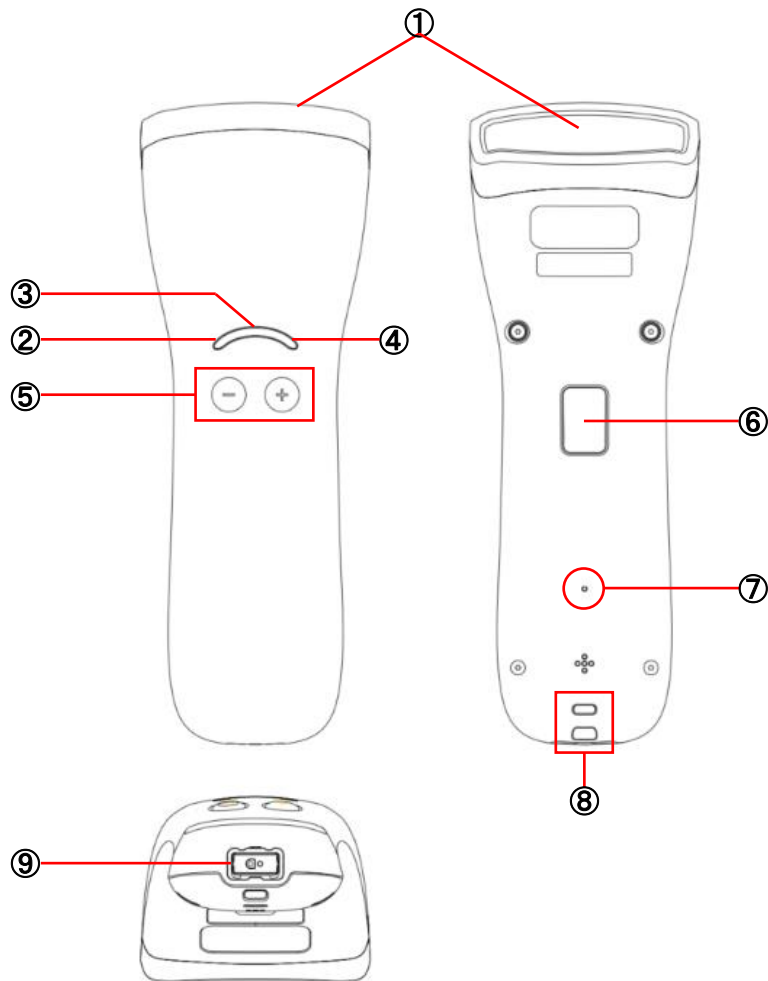
おことわり

- 本書は間違いや、誤記の無いように細心の注意を払って編集しております。
万が一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、改良などにより、将来予告なく変更することがあります。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。
- iPhone、iPad および iOS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に掲載のその他の商品名または会社名は、各社・各団体の登録商標または商標です。
™、®マークは付記していない場合があります。

目次

1. 各部の名称と機能	5
2. 動作モード	6
3. キー機能	6
4. 状態通知	7
5. Bluetooth 接続について	8
5.1 仕様	8
5.2 SPP 通信	9
5.2.1 SPP およびマスターモードとスレーブモード	9
5.2.2 通信フォーマット	9
5.2.3 フロー制御	10
5.2.4 バッテリステータス	10
5.3 HID 通信	11
5.3.1 HID	11
5.3.2 通信フォーマット	11
5.4 接続先簡易切替え	11
6. 詳細設定	12
6.1 出荷時の設定（初期値）	12
6.1.1 システムに関する出荷時の設定	12
6.1.2 リアルモード SPP 通信に関する出荷時の設定	13
6.1.3 リアルモード HID 通信に関する出荷時の設定	13
6.1.4 バーコード読取りに関する出荷時の設定	14
6.1.5 Symbol コードに関する出荷時の設定	15
6.1.6 GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコードの変換に関する出荷時の設定	15
6.1.7 読取り桁数に関する出荷時の設定	15
6.1.8 初期化および無効化に関する設定	15
6.2 設定バーコード	16
6.2.1 システムに関する設定	16
6.2.2 リアルモード SPP 通信に関する設定	25
6.2.3 リアルモード HID 通信に関する設定	36
6.2.4 バーコード読取りに関する設定	49
6.2.5 Symbol コードに関する設定	61
6.2.6 GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコードの変換に関する設定	62
6.2.7 読取り桁数に関する設定	65
6.2.8 先頭桁切捨ておよび後尾桁切捨て設定	69
6.2.9 初期化および無効化に関する設定	73
6.2.10 英数字バーコード	74
付録 1	77
付録 2	78
付録 3	83

1. 各部の名称と機能



名称	機能
①スキャナ	赤色 LED 光(エイマー)を照射しバーコードを読み取ります。
②バッテリー LED	バッテリーの状態を表示します。 赤点灯: 充電中 緑点灯: 充電完了 素早い赤点滅: 充電異常 早い赤点滅: バッテリ低電圧
③スキャン LED	バーコードを読み取った時の結果を表示します。 緑点灯: 読取成功 赤点灯: 読取失敗
④通信 LED	Bluetooth の接続の状態を表示します。 早い青点滅: 未接続状態(ペアリング待ち状態) 遅い青点滅: 接続状態
⑤+/-キー	起動時、Bluetooth 接続ができなかった場合、または、何らかの理由で切断した場合、+/-キー押下で再接続します。 また、iPhone、iPad に接続して使用する場合、+キーにより、ソフトウェアキーボードの表示・非表示を切り替えることが可能です。
⑥スキャンキー	長押しで電源 ON します。 バーコードの読取を行います。
⑦リセットボタン	本機をリセットします。
⑧ストラップホール	必要に応じてストラップを取り付けてご使用ください。
⑨充電端子	充電スタンドに装着し充電を行います。

2. 動作モード

Cylock Libre の動作モードはリアルモードのみです。

動作モード	機能
リアルモード	<p>スキャン後、Bluetooth にてリアルタイムでデータを送信します 本機は SPP および HID プロファイルに対応しています</p> <p>SPP を使用する場合は、Windows、Android 等のホストデバイスに専用アプリケーション※が必要です</p> <p>HID を使用する場合は、接続先のホストデバイスが iOS、Android の場合はキーボード配列を英語に、Windows の場合は日本語に設定してください</p>

※ 専用アプリケーションは独自に開発して頂く必要があります。

Windows 版、Android 版のサンプルアプリケーションをご用意しております。

必要により、そちらを参考に業務に合わせたアプリケーションの開発を行ってください。

なお、お客様の仕様に合わせ弊社でアプリケーションを開発することも可能です。

アプリケーション開発をご検討の際は弊社営業部までお問合せください。

3. キー機能

動作状態により、キー機能が変わります。

	電源 OFF	リアルモード			
		SPP		HID	
		接続時	切断時	接続時	切断時
スキャンキー長押し	電源 ON※ ¹	—			
スキャンキー	—	スキャン	—	スキャン	—
+キー	—	ASCII コード送信※ ²	再接続	キーコード送信※ ³	再接続
—キー					
+および—キー同時					
リセットボタン	—	リセット※ ⁴			

※¹ 1 秒程度長押しすると本機が電源 ON します。

電源 ON 時、各 LED、ブザー音およびバイブレーションで起動を通知します。

起動通知に関しては「4.状態通知」をご覧ください。

使用しない状態が継続した場合、自動的に電源 OFF します。初期値は 10 分です。

キー操作による電源 OFF 機能はありません。

※² +キー、—キー押下で ASCII コードが送信されます。

ASCII コードの初期値はキー毎に異なります。

設定により、任意の ASCII コード送信またはバーコードスキャンが可能です。

※³ iPhone、iPad のソフトウェアキーボードの表示／非表示が制御可能です。

キーコードの初期値はキー毎に異なります。

設定により、表示／非表示制御の無効化や任意のキーコード送信またはバーコードスキャンが可能です。

※⁴ リセット後は電源 OFF 状態になります。初期化(出荷状態へ戻す)ではありません。

4. 状態通知

本機の各状態を、以下のように LED、ブザー音およびバイブレーションでお知らせします。

バーコードリーダーの状態		スキャン LED	バッテリー LED	通信 LED	ブザー音※1	バイブレーション※2
電源 ON		緑点灯			ピ	長い振動
商品バーコード読取り成功		緑点灯			ピ	短い振動
商品バーコード読取り失敗※3		赤点灯			ピピピ	
設定バーコード読取り成功		緑点灯			ピーピ	長い振動＋短い振動
設定バーコード読取り失敗※3		赤点灯			ブブブ	
Bluetooth 未接続 (SPP スレーブモード)	＋キー			早い青点滅※6	ブブ	
	－キー				ブブ	
Bluetooth 接続成功				遅い青点滅※6	ピピ	長い振動
Bluetooth 接続中 (SPP モード)	＋キー※4			遅い青点滅※6	ピ	
	－キー※4				ブ	
	ACK				ピ	
	CAN				ブブ	
	リトライオーバー				ブブ	
Bluetooth 接続中 (HID モード)	＋キー※4				ピ	
	－キー※4※5				ブ	
Bluetooth 切断または通信エラー				早い青点滅※6	ブブ	長い振動
SPP スレーブモード設定完了					ブブ	
SPP ホストモード設定完了					ピピ	
HID モード設定完了					ブピ	
バッテリー充電異常			素早い赤点滅※6			
バッテリー充電完了			緑点灯			
バッテリー低電圧			早い赤点滅※6			
初期化中		素早い緑点滅※6				

※1 ブザー音

ブザー音は大中小無の設定が可能です。

ブ = 短く低い音 ピ = 短く高い音 ブー = 長く低い音 ピー = 長く高い音

※2 バイブレーション

バイブレーションは振動あり／なしの設定が可能です。

短い振動 = 100ms 長い振動 = 300ms

※3 読取り失敗時のブザー音

読取り失敗時のブザー音は通知あり／なしの設定が可能です。

初期値は通知なしです。

※4 ＋キー、－キー押下時のブザー音 (Bluetooth 接続中)

＋キー、－キー押下時のブザー音は通知あり／なしの設定が可能です。

初期値は通知ありです。

※5 －キー押下時のブザー音 (Bluetooth 接続中)

－キー押下時のキーコードは初期値なしです。そのため、出荷状態のままでは－キーを押下してもブザー音は鳴りません。

任意のキーコードを設定することでブザー音が鳴ります。

※6 LED の点滅

LED 点滅間隔時間の目安。

素早い点滅 = 約 0.1 秒に 1 度の間隔 早い点滅 = 約 1 秒に 1 度の間隔 遅い点滅 = 約 3 秒に 1 度の間隔

5. Bluetooth 接続について

5.1 仕様

本機は無線インターフェースとして Bluetooth Ver2.1 を採用しており、SPP(シリアル・ポート・プロファイル)および HID(ヒューマン・インターフェース・デバイス・プロファイル)に対応しております。

通信を行う場合、相手機器にも同様の通信手順(プロファイル)が実装されている必要があります。

仕様	説明
電波強度	Class1 スマートフォンやタブレット端末等のホストデバイスとの最大通信距離は 50m です(使用環境により異なります) 離れた場合、正常に動作しない場合があります
接続構成	1 対 1 ペアリングを行い、無線を使った仮想的なケーブルで相手機器と接続します 本機はピコネットの親機機能は対応しておりません そのため、親機として 1 対複数の接続はできません 子機として親機に接続することは可能です
通信手順 (プロファイル)	SPP(シリアル・ポート・プロファイル) シリアルポートとして通信を行います SPP にはマスターモードとスレーブモードがあります 詳細は「5.2 SPP 通信」をご覧ください
	HID(ヒューマン・インターフェース・デバイス・プロファイル) キーボードインターフェースとして通信を行います 詳細は「5.3 HID 通信」をご覧ください
認証・暗号化	認証 Bluetooth 機器を接続する場合、ペアリングを行う必要があります 認証あり／なしを設定バーコードで設定することができます 初期値は「認証なし」です PIN コード(パスキー)の入力を求められた場合、PIN コードを入力してください PIN コードの初期値は「0000」です 詳細は「6.2.1 システムに関する設定」の「Bluetooth 認証」をご覧ください
	暗号化 Bluetooth による通信時に暗号化を行うことができます 初期値は「暗号化あり」です 設定バーコードにより「暗号化なし」に設定することができます 詳細は「6.2.1 システムに関する設定」の「Bluetooth 暗号化」をご覧ください
ペアリング	最大 8 台 運用に合わせ、SPP 通信または HID 通信どちらかのプロファイルを選択し、ホストデバイスとペアリングを実施します 本機が「ペアリング済みのホストデバイス」を記憶できるのは最大 8 台です 一度ペアリングを行えば、SPP マスターモードおよび HID モードの場合、電源オン(起動)時に前回接続したホストデバイスに自動的に接続します 本機を起動した際、Bluetooth 接続できなかった場合、または、何らかの理由で Bluetooth 接続が切断した場合、+/-キー押下で再接続します

5.2 SPP 通信

5.2.1 SPP およびマスターモードとスレーブモード

SPP は Serial Port Profile の略であり、Bluetooth を仮想シリアルポートとして通信を行います。

本機は、SPP プロファイルに対応した Windows または Android 等のホストデバイスとペアリングを行い接続することで、仮想シリアルポートとして使用することができます。

リアルモード SPP 通信は本機からのデータ送信の信頼性を高くしたい場合にご使用ください。

本機はオリジナルのプロトコル(通信手順)を採用しており、データ送信漏れを防ぐことが可能です。

リアルモード SPP 通信をご使用の場合、ホストデバイスに専用アプリケーションが必要になります。

詳細については、次項「5.2.2 通信フォーマット」をご覧ください。

ペアリングを行う際は、運用に合わせマスターモードまたはスレーブモードのいずれかを選択してください。

ペアリングおよび接続方法については、「6.2.1 システムに関する設定」をご覧ください。

モード	説明
マスターモード	本機がマスターとなり、スレーブであるホストデバイスへ接続を試みます
スレーブモード	ホストデバイスがマスターとなり、スレーブである本機へ接続を試みます

5.2.2 通信フォーマット

通信フォーマットは以下のとおりです。

オリジナルのプロトコル(通信手順)を採用しているため、ホストデバイスの専用アプリケーションにて、Digit、Data、Checksum 等で正常、異常のチェックを行うことができます。

もし、通信時に何らかの異常があった場合、専用アプリケーションにて任意の処理を促すことができるため、より安全な運用が可能となります。

スキャン時、+/-キー押下時、Bluetooth 状態変化時および充電状態変化時に、本通信フォーマットに則ってデータを送信します。

設定については、「6.2.2 リアルモード SPP 通信に関する設定」の「SPP 送信データフォーマット」の各設定バーコードをご覧ください。

[Prefix][Digit][Header][Data][Status][Footer][Checksum][Suffix]

構成値	byte 数	初期値	備考
Prefix	1	STX(02h)	プリフィックス
Digit	1	有り	桁数 Header、Data、Footer および Status の各構成値のバイト数
Header	1	無し	ヘッダー
Data	—	—	スキャンデータ(スキャン時のみ)
Status	1	—	バッテリーステータス※
Footer	1	無し	フッター
Checksum	2	有り	チェックサム Header、Data、Footer および Status の各構成値をバイト単位毎に加算した値
Suffix	1	ETX(03h)	サフィックス

※「5.2.4 バッテリーステータス」を参照。

5.2.3 フロー制御

本機はフロー制御 (ACK/NAK) が使用可能です。

ホストデバイス側の専用アプリケーションにて、Digit、Data、Checksum 等のチェック処理を行い、その結果によって、ACK (肯定応答) または NAK (否定応答) を本機へ送信することで、より信頼性の高い通信が可能となります。

初期値は「ACK/NAK 有効」のため、フロー制御を使用しない場合は「6.2.2 リアルモード SPP 通信に関する設定」の「ACK/NAK 設定」にて「無効」にしてください。

制御文字	説明
ACK (06h)	ACK 受信後、次のバーコードスキャンが可能になります
NAK (15h)	NAK 受信後、リトライサイクルの設定回数に従いデータ送信のリトライを行います
CAN (18h)	CAN 受信後、データ送信を中止します

5.2.4 バッテリステータス

以下のタイミング (状態変化) でホストデバイスにバッテリーの状態を送信します。

初期値は「バッテリステータス通知有効」です。

不要な場合、「6.2.2 リアルモード SPP 通信に関する設定」の「バッテリステータス通知設定」にて「無効」にしてください。

通知タイミング (状態変化)
① スキャン時
② Bluetooth 接続時
③ Bluetooth 接続中の自動電源 OFF 時
④ 充電開始時
⑤ 充電完了時
⑥ 充電異常時
⑦ 充電停止時

バッテリステータスの各状態は以下になります。

Status	状態
F	電圧高
M	電圧中
L	電圧低
E	電圧残量ゼロ
C	充電中
D	充電完了
S	充電停止 (充電異常)

5.3 HID 通信

5.3.1 HID

HID は Human Interface Device の略であり、主にマウスやキーボード等の入力装置を表します。
バーコード情報を簡単に入力したい場合は、リアルモード HID 通信をご使用ください。

本機は iPhone、iPad 等の iOS または HID プロファイルに対応した Windows、Android 等のホストデバイスとペアリングを行い接続することで、すぐにキーボードインターフェースとしてお使いいただけます。
ペアリングの方法については、各端末の説明書をご覧ください。

iPhone、iPad をご利用の場合、+キーにてソフトウェアキーボードの表示／非表示が制御可能です。

ご注意

iPhone、iPad にてバーコード情報を入力する場合、キーボード設定を English(US) に切替えてください。
“日本語かな”または“日本語ローマ字”の場合、改行されない、異なる文字が入力される等の現象が発生します。

5.3.2 通信フォーマット

通信フォーマットは以下のとおりです。

設定については、「6.2.3 リアルモード HID 通信に関する設定」の「HID 送信データフォーマット」の各設定バーコードをご覧ください。

[Header][Data][Footer][Termination_1][Termination_2][Termination_3]

構成値	byte 数	初期値	備考
Header	1	無し	ヘッダー
Data	—	—	スキャンデータ
Footer	1	無し	フッター
Termination_1	1	Return (28h)	レコード毎の付加文字 1
Termination_2	1	無し	レコード毎の付加文字 2
Termination_3	1	無し	レコード毎の付加文字 3

5.4 接続先簡易切替え

複数のホストデバイスと組み合わせて使用する場合、接続先を容易に切替えることができます。

ただし、本機能は SPP スレーブモードおよび HID モード時のみ使用可能です。

SPP マスターモードは本機能を使用できません。

設定については、「6.2.1 システムに関する設定」の「Bluetooth 接続先簡易切替え」をご覧ください。

6. 詳細設定

6.1 出荷時の設定(初期値)

システムに関する初期値とバーコード読取りに関する初期値を記載します。

設定を変更する場合は、「6.2 設定バーコード」または「Cylock Libre 設定 Web ページ」で設定バーコードをスキャンしてください。

Cylock Libre 設定 Web ページ : https://www.alf-net.co.jp/cylock_libre/index.html

6.1.1 システムに関する出荷時の設定

システムに関する初期値は以下のようになっています。

項目		初期値
通信手順(プロファイル)		HID モード
デバイス名		Libre+Bluetooth デバイスアドレスの下 4 桁
Bluetooth	認証	認証なし
	PIN コード	0000(認証ありの場合)
	暗号化	暗号化あり
	接続先簡易切替え	無効
電源 OFF 時間		10 分
ブザー音程		中
ブザー音量		中
バーコード読取り失敗時のブザー音通知		通知なし
Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知		通知あり
バイブレーション		振動あり
+/-キー押下時のブザー音通知		通知あり
バーコード読取りタイムアウト		5 秒

6.1.2 リアルモード SPP 通信に関する出荷時の設定

リアルモード SPP 通信に関する初期値は以下のようになっています。

初期値がリアルモード HID 通信のため、本設定値は通信に影響はありませんが、SPP 通信を行う場合はこちらの設定が有効になります。

項目	初期値
SPP 送信データフォーマット	STX[Digit][Data][Status][Checksum]ETX
SPP マスターモード時の再接続周期	15 秒
SPP 通信時のフロー制御	ACK/NAK 有効
NAK 受信またはタイムアウト時のリトライ	2 回
ACK/NAK 受信タイムアウト	2 秒
+キー押下時の ASCII コード送信	有効 (2Bh)
+キーによるバーコードスキャン	無効
-キー押下時の ASCII コード送信	有効 (2Dh)
-キーによるバーコードスキャン	無効
+および-キー同時押下時の ASCII コード送信	無効

6.1.3 リアルモード HID 通信に関する出荷時の設定

リアルモード HID 通信に関する初期値は以下のようになっています。

項目	初期値
HID 送信データフォーマット	[Data]Return
+キー押下時のキーコード送信	有効 (Eject [※])
+キーによるバーコードスキャン	無効
-キー押下時のキーコード送信	無効
-キーによるバーコードスキャン	無効
+および-キー同時押下時のキーコード送信	無効
1レコード毎のデータ送信前のディレイ時間	無し
キャラクタ間のディレイ時間	無し
日英キーボード配列	英語
バーコード内英字の大文字/小文字変換	変換なし

※ iPhone、iPad のソフトウェアキーボードの表示／非表示を制御可能です。

6.1.4 バーコード読取りに関する出荷時の設定

バーコード読取りに関する初期値は以下のようになっています。

項目	初期値
スキャンモード	トリガ
1次元反転バーコード読取り	通常バーコードのみ
コードID キャラクタ転送	無効
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット転送	有効
UPC-A から EAN-13 への変換	無効
UPC-A アドオン	無効
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット転送	有効
UPC-E から UPC-A への変換	無効
UPC-E アドオン	無効
EAN-13	有効
EAN-13 チェックデジット転送	有効
EAN-13 から ISBN/ISSN への変換	無効
EAN-13 アドオン	無効
定期刊行物コード(雑誌)	無効
EAN-8	有効
EAN-8 チェックデジット転送	有効
EAN-8 アドオン	無効
Code 39	有効
Code 39 チェックデジット検証	無効
Code 39 チェックデジット転送	無効
Code 39 フルアスキー変換	無効
Code 39 スタート・ストップキャラクタ転送	無効
NW7(Codabar)	有効
NW7(Codabar) スタート・ストップキャラクタ除去	有効
NW7(Codabar) チェックデジット検証	無効
NW7(Codabar) チェックデジット転送	有効
NW7(Codabar) スタート・ストップキャラクタ設定	ABCD/ABCD
Code 128	有効
GS1-128	有効
ITF(Interleaved 2 of 5)	有効
ITF チェックデジット検証	無効
ITF チェックデジット転送	有効
GS1 DataBar Omnidirectional	有効
GS1 DataBar Limited	有効
GS1 DataBar Expanded	有効
GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション識別子転送	有効
GS1 DataBar Limited アプリケーション識別子転送	有効
GS1 DataBar Expanded アプリケーション識別子転送	有効
GS1 DataBar から EAN-13 への変換	無効

6.1.5 Symbol コードに関する出荷時の設定

コード ID キャラクタ転送にて Symbol コードを設定した場合、読取ったバーコードの先頭に Symbol コードキャラクタが付加されます。

各バーコードの Symbol コードキャラクタの初期値は以下のようになっています。

項目	初期値
UPC-A	A(41h)
UPC-E	A(41h)
EAN-13	A(41h)
EAN-8	A(41h)
Code 39	B(42h)
NW7(Codabar)	C(43h)
Code 128	D(44h)
GS1-128	K(4Bh)
ITF(Interleaved 2 of 5)	F(46h)
GS1 DataBar	R(52h)
ISBN/ISSN	X(58h)

6.1.6 GS1-128(UCC/EAN-128)バーコードの変換に関する出荷時の設定

GS1-128(UCC/EAN-128)バーコードの変換に関する初期値は以下のようになっています。

項目	初期値
GS1-128 識別子毎に括弧「()」を付加する設定	付加しない
GS1-128 可変長区切り文字変換(SPP 通信)	GS(1Dh)
GS1-128 可変長区切り文字変換(HID 通信)	/
GS1-128 可変長区切り文字転送後のディレイ	無効

6.1.7 読取り桁数に関する出荷時の設定

バーコード読取り桁数に関する初期値は以下のようになっています。


項目	初期値
Code 39 桁数指定	1～55 桁
NW7(Codabar) 桁数指定	1～55 桁
Code 128 桁数指定	1～55 桁
ITF(Interleaved 2 of 5) 桁数指定	4～55 桁

6.1.8 初期化および無効化に関する設定

本機を出荷状態に戻す場合は「6.2.9 初期化および無効化に関する設定」の「設定初期化」をご覧ください。
また、特定のバーコード体系のみを読取り可能に設定したい場合は、同じく「バーコード読取り無効化」をご参照ください。一度全てのバーコードを読取り無効化した後、目的のバーコードを有効化にすることで、容易に設定することができます。

6.2 設定バーコード

本機の出荷時の設定は「6.1 出荷時の設定（初期値）」に記載しております。必要に応じて設定変更を行ってください。

各項目で網掛け  の部分が初期値となります。また、各項目は最後に読取った設定が有効となります。

6.2.1 システムに関する設定

本項ではシステムに関する設定についてご説明します。

リアルモード SPP 通信の設定

SPP は Bluetooth を仮想シリアルポートとして通信を行います。

本機は、SPP プロファイルに対応した Windows または Android 等のホストデバイスとペアリングを行い接続することで、仮想シリアルポートとして使用することができます。

リアルモード SPP マスターモード

以下の手順で作成した設定バーコードをスキャンすることでペアリングが行われます。

Bluetooth デバイスアドレスの確認の方法については、各端末の説明書をご覧ください。

スタートキャラクタ	特殊キャラクタ	専用コード	パラメータ(12 文字)
CODE-B	FNC4※	A001A	0～9、A～F

※バーコード作成の際、FNC4 と A001A の間にはスペースが必須となります。

例: Bluetooth デバイスアドレスが「0011224488FF」の場合


機能	状態	バーコード
SPP マスター	ペア登録要求	 A001A0011224488FF

設定バーコードの作成は「Cylock Libre 設定 Web ページ」をお使いいただけます。

「その他」より「設定バーコード作成」を選択してください。

Cylock Libre 設定 Web ページ : https://www.alf-net.co.jp/cylock_libre/index.html

リアルモード SPP スレーブモード

機能	状態	バーコード	コード
SPP スレーブ	ペア登録待ち		A002A

リアルモード HID 通信の設定

HID は主にマウスやキーボード等の入力装置を表します。

本機は iPhone、iPad 等の iOS または HID プロファイルに対応した Windows、Android 等のホストデバイスとペアリングを行い接続することで、キーボードインターフェースとしてお使いいただけます。

なお、キーボードには英語キーボード配列と日本語キーボード配列があります。

一般的に、英語キーボードは iOS、Android、日本語キーボードは Windows で使用されます。

必要に応じて、「6.2.3 リアルモード HID 通信に関する設定」の「日英キーボード配列切り替え設定バーコード」で設定を行ってください。

本機からホストデバイスへ接続を行う場合

以下の手順で作成した設定バーコードをスキャンすることでペアリングが行われます。

Bluetooth デバイスアドレスの確認の方法については、各端末の説明書をご覧ください。

スタートキャラクタ	特殊キャラクタ	専用コード	パラメータ(12 文字)
CODE-B	FNC4※	A003B	0～9、A～F

※バーコード作成の際、FNC4 と A001A の間にはスペースが必須となります。

例: Bluetooth デバイスアドレスが「0011224488FF」の場合


機能	状態	バーコード
HID	ペア登録要求	 A003B0011224488FF

設定バーコードの作成は「Cylock Libre 設定 Web ページ」をお使いいただけます。

「その他」より「設定バーコード作成」を選択してください。

Cylock Libre 設定 Web ページ : https://www.alf-net.co.jp/cylock_libre/index.html

ホストデバイスから本機へ接続を行う場合

機能	状態	バーコード	コード
HID	ペア登録待ち		A003A

ご注意

リアルモードSPP通信からHID通信へモード変更を行った後、再度リアルモードSPP通信へ変更する場合、本機を初期化（出荷状態）し、ペアリングからやり直してください。

設定初期化については、「6.2.9 初期化および無効化に関する設定」の「設定初期化」をご覧ください。

Bluetooth デバイス名設定バーコード

本設定は、本機が SPP スレーブモードおよび HID モード時にマスターとなるホストデバイスとペアリングをするために使用します。

Bluetooth デバイス名は初期値「Libre+Bluetooth デバイスアドレス下 4 桁」となっています。

より分かりやすい Bluetooth デバイス名に変更したい場合は、以下の手順で作成した設定バーコードをスキャンしてください。

※バーコード作成の際、FNC4 と A011A の間にはスペースが必須となります。

スタートキャラクタ	特殊キャラクタ	専用コード	パラメータ(31 文字まで)
CODE-B	FNC4	A011A	0～9、A～Z、a～z

例:「BarcodeReader1」の場合

機能	状態	バーコード
Bluetooth デバイス名	—	 A011ABarcodeReader1

設定バーコードの作成は「Cylock Libre 設定 Web ページ」をお使いいただけます。

「その他」より「設定バーコード作成」を選択してください。

Cylock Libre 設定 Web ページ : https://www.alf-net.co.jp/cylock_libre/index.html

Bluetooth 認証設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 認証	認証あり		A008A
	認証なし		A008B

Bluetooth PIN コード入力バーコード


PIN コードは初期値「0000」です。

PIN コードは 16 文字まで設定可能であり、0～9、A～Z、a～z を使用します。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：PIN コードが「1234」の場合、以下のようにスキャンします。

「B018A」「1」「2」「3」「4」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
PIN コード入力	入力開始		B018A

Bluetooth PIN コード初期化バーコード

「0000」に初期化します。

機能	バーコード	コード
PIN コード初期化		A017A

Bluetooth 暗号化設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 暗号化	暗号化あり		A009A
	暗号化なし		A009B

Bluetooth 接続先簡易切替え設定バーコード

本機を複数のホストデバイスと組み合わせて使用する場合、本設定を有効にすることで接続先を簡単に切替えることができます。

※ ただし、本機能は SPP スLEEPモードおよび HID モード時のみ使用可能です。

SPP マスターモードは本機能を使用できません。

接続先を切替える場合、一度、現在のホストデバイスとの接続を切ります。

その後、接続したいホストデバイスの Bluetooth デバイスアドレスのバーコードをスキャンすることでそのホストデバイスに接続します。

事前にペアリングを行う必要はありません。初回接続時にペアリングが行われます。

本機が「ペアリング済みのホストデバイス」を記憶できるのは最大 8 台です。

ホストデバイスの Bluetooth がオフ状態になっていた等の理由により接続ができなかった場合、ホストデバイスの Bluetooth が通信できる状態になっていることを確認後、再度 Bluetooth デバイスアドレスバーコードをスキャンしてください。

Bluetooth デバイスアドレスは Code 39(チェックデジットなし)または Code 128 にて 12 桁のバーコードを作成してください。

Bluetooth デバイスアドレスの確認の方法については、各端末の説明書をご覧ください。

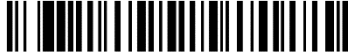










機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 接続先簡易切替え	有効		A178A1
	無効		A178A0

※ 本設定の「有効」「無効」に関わらず、電源 ON 時に前回接続したホストデバイスに自動的に接続します。

ただし、SPP モード時はホストデバイスのアプリケーション状態によっては接続しない場合があります。




電源 ON 時に接続できなかった場合、ホストデバイスにて接続操作を行うか、または本機を再起動してください。

自動電源 OFF 時間設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
自動電源 OFF 時間	1 分		A004A1
	3 分		A004A2
	5 分		A004A3
	10 分		A004A4
	15 分		A004A5
	30 分		A004A6
	45 分		A004A7
	60 分		A004A8
	120 分		A004A9
	180 分		A004AA
	240 分		A004AB

※ エイマー(赤色 LED 光)が照射され、スキャンが可能な状態のまま設定時間が経過した場合も電源 OFF します

ブザー音程設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
ブザー音程のタイプ変更	低		A171A0
	中		A171A1
	高		A171A2

ブザー音量設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
ブザー音量	無し		A010A0
	小		A010A1
	中		A010A2
	大		A010A3

バーコード読取り失敗時のブザー音通知設定バーコード

機能	状態	バーコード	パラメータ
バーコード読取り失敗時のブザー音通知	通知あり		A006A
	通知なし		A006B

Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
Bluetooth 再接続/切断時のブザー音通知	通知あり		A005A
	通知なし		A005B

+/-キー押下時のブザー音通知設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
+/-キー押下時のブザー音通知	通知なし		AA12A0
	通知あり		AA12A1

バイブレーション設定バーコード

機能	状態	バーコード	パラメータ
バイブレーション	振動なし		A025A0
	振動あり		A025A1


バーコード読取りタイムアウト設定バーコード

スキャンモードがトリガモードの時に商品バーコードおよび設定バーコードが何らかの原因で読取りできない場合、5 秒(初期値)でタイムアウトします。他のモードではタイムアウトはしません。

タイムアウトは、01～51 の 2 桁の値を設定することで、0.5～25.5 秒まで 0.5 秒単位で変更することができます。設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: タイムアウトを 10 秒にする場合、以下のようにスキャンします。

「B113A」「2」「0」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
バーコード読取りタイムアウト (10h) ※トリガモードのみ	入力開始		B113A

設定値とタイムアウト時間については下記をご覧ください。

設定値	タイムアウト(秒)	設定値	タイムアウト(秒)
01	0.5	31	15.5
02	1.0	32	16.0
03	1.5	33	16.5
04	2.0	34	17.0
05	2.5	35	17.5
06	3.0	36	18.0
07	3.5	37	18.5
08	4.0	38	19.0
09	4.5	39	19.5
10	5.0	40	20.0
11	5.5	41	20.5
12	6.0	42	21.0
13	6.5	43	21.5
14	7.0	44	22.0
15	7.5	45	22.5
16	8.0	46	23.0
17	8.5	47	23.5
18	9.0	48	24.0
19	9.5	49	24.5
20	10.0	50	25.0
21	10.5	51	25.5
22	11.0		
23	11.5		
24	12.0		
25	12.5		
26	13.0		
27	13.5		
28	14.0		
29	14.5		
30	15.0		

6.2.2 リアルモード SPP 通信に関する設定

本項では SPP 通信に関する設定についてご説明します。

SPP 送信データフォーマット

SPP 通信のフォーマットは以下のとおりです。

バーコードデータの前後に任意の 1 文字を付加することができます。

[Prefix][Digit][Header][Data][Status][Footer][Checksum][Suffix]

プリフィックス(Prefix)設定バーコード

プリフィックスは初期値「STX(02h)」です。

0～9、A～F の 2 文字で「STX(02h)」以外の任意の値に設定することができます。

変更する場合は、「B019A」にて入力を開始してください。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

なお、「NUL(00h)」は設定禁止です。

機能	状態	バーコード	コード
プリフィックス	有り STX(02h)		A019E
	無し		A019F
	入力開始		B019A

桁数(Digit)設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
桁数	有り		A019A
	無し		A019B

ヘッダー(Header)設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

ヘッダーは初期値「無し」です。

「有り」にした場合、ヘッダーは「<(3Ch)」が送信されます。

0～9、A～F の 2 文字で「<(3Ch)」以外の任意の値を付加することができます。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

なお、「NUL(00h)」は設定禁止です。

例: ヘッダーを「<」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B117A」「2」「8」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー	有り(3Ch)		A117A
	無し		A117B
	入力開始		B117A

バッテリーステータス通知設定バーコード

本設定「有効」時、バッテリーの状態を通知します。

機能	状態	バーコード	コード
バッテリーステータス通知	無効		AA10A0
	有効		AA10A1

バッテリーステータス通知有効時、以下のタイミングでホストデバイスにバッテリーの状態を送信します。

通知タイミング
① スキャン時
② Bluetooth 接続時
③ Bluetooth 接続中の自動電源 OFF 時
④ 充電開始時
⑤ 充電完了時
⑥ 充電異常時
⑦ 充電停止時

バッテリーステータスの各状態は以下になります。

Status	状態
F	電圧高
M	電圧中
L	電圧低
E	電圧残量ゼロ
C	充電中
D	充電完了
S	充電停止(充電異常)

フッター(Header)設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

フッターは初期値「無し」です。

「有り」にした場合、フッターは「>(3Eh)」が送信されます。

0～9、A～F の 2 文字で「>(3Eh)」以外の任意の値を付加することができます。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

なお、「NUL(00h)」は設定禁止です。

例: ヘッダーを「)」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B118A」「2」「9」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
フッター	有り(3Eh)		A118A
	無し		A118B
	入力開始		B118A

チェックサム(CheckSum)設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
チェックサム	有り		A019C
	無し		A019D

サフィックス(Suffix)設定バーコード

サフィックスは初期値「ETX(03h)」です。

0～9、A～F の 2 文字で「ETX(03h)」以外の任意の値に設定することができます。

変更する場合は、「B019B」にて入力を開始してください。









ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

なお、「NUL(00h)」は設定禁止です。

機能	状態	バーコード	コード
サフィックス	有り ETX(03h)		A019G
	無し		A019H
	入力開始		B019B

SPP マスターモード時の再接続周期設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
SPP マスターモード時の再接続周期	無し		A007A0
	15 秒		A007A1
	30 秒		A007A2
	45 秒		A007A3
	1 分		A007A4
	5 分		A007A5
	10 分		A007A6
	15 分		A007A7
	30 分		A007A8

SPP 通信時のフロー制御

ACK/NAK 設定バーコード

ホストデバイスより ACK を受信した場合、次のバーコードスキャンが可能になります。



NAK を受信した場合はリトライサイクルの設定回数に従いデータ送信のリトライを行います。

機能	状態	バーコード	コード
ACK/NAK	有効		A020A
	無効		A020B

リトライサイクル設定バーコード※

NAK の受信 または タイムアウトした場合、設定した回数のデータ送信リトライを行います。








設定回数をオーバーした場合はバーコード読取り失敗となります。

機能	状態	バーコード	コード
リトライサイクル	無し		A020D0
	1 回		A020D1
	2 回		A020D2
	3 回		A020D3

※ ACK/NAK 有効時のみ変更可

タイムアウト設定バーコード※

設定した時間を越えても ACK/NAK が受信できない場合、リトライサイクルの設定回数に従いデータ送信のリトライを行います。

機能	状態	バーコード	コード
タイムアウト	100ms		A020C1
	200ms		A020C2
	300ms		A020C3
	500ms		A020C4
	1s		A020C5
	2s		A020C6
	3s		A020C7
	5s		A020C8

※ ACK/NAK 有効時のみ変更可

+キー押下時の ASCII コード送信設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

+キーを押下することで ASCII コードを送信できます。初期値は「+(2Bh)」です。

ASCII コードをホストデバイスのアプリケーションにて受信し、任意の動作を行うことができます。

0~9、A~F の 2 文字で「+(2Bh)」以外の任意の値に設定することができます。

変更する場合は、「B019C」で入力を開始してください。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
+キー押下時の ASCII コード送信	有効 (2Bh)		A019I
	無効		A019J
	入力開始		B019C

+キーによるバーコードスキャン設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

本設定を「有効」にした場合、+キー押下でバーコードをスキャンすることができます。

本設定は「ASCII コード送信設定」よりも優先されます。

そのため、「+キー押下時の ASCII コード送信」が「有効」でも ASCII コードは送信されません。

機能	状態	バーコード	コード
+キーによるバーコードスキャン	無効		A019O0
	有効		A019O1

ーキー押下時の ASCII コード送信設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

ーキーを押下することで ASCII コードを送信できます。初期値は「ー(2Dh)」です。

ASCII コードをホストデバイスのアプリケーションにて受信し、任意の動作を行うことができます。

0~9、A~F の 2 文字で「ー(2Dh)」以外の任意の値に設定することができます。

変更する場合は、「B019D」で入力を開始してください。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
ーキー押下時の ASCII コード送信	有効 (2Dh)		A019K
	無効		A019L
	入力開始		B019D

ーキーによるバーコードスキャン設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

本設定を「有効」にした場合、ーキー押下でバーコードをスキャンすることができます。

本設定は「ASCII コード送信設定」よりも優先されます。

そのため、「ーキー押下時の ASCII コード送信」が「有効」でも ASCII コードは送信されません。

機能	状態	バーコード	コード
ーキーによるバーコードスキャン	無効		A019P0
	有効		A019P1

＋およびキー同時押下時の ASCII コード送信設定バーコード(リアルモード SPP 通信)

＋およびキーを同時押下することで、ASCII コードを送信できます。初期値は「無効」です。




「有効」にした場合、ASCII コードをホストデバイスのアプリケーションにて受信し、任意の動作を行うことができます。

0～9、A～F の 2 文字で「&(26h)」以外の任意の値に設定することができます。

変更する場合は、「B019E」で入力を開始してください。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
＋およびキー同時押下時の ASCII コード送信	有効 (26h)		A019M
	無効		A019N
	入力開始		B019E

6.2.3 リアルモード HID 通信に関する設定

本項では HID 通信に関する設定についてご説明します。

HID 送信データフォーマット

HID 通信の送信データフォーマットは以下のとおりです。


バーコードデータの前後に任意の 1 文字を付加することができます。

また、レコード毎に最大 3 文字まで文字を付加することができます。

[Header][Data][Footer][Termination_1][Termination_2][Termination_3]

ヘッダー(Header)設定バーコード(リアルモード HID 通信)

ヘッダーは初期値「無し」です。

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー	無し		A115A

ヘッダーは 0～9、A～F の 2 文字で任意の文字が付加できます。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。


例:「\$」を付加する場合、以下のようにスキャンします。

「B115B」「2」「1」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
ヘッダー 通常キー	入力開始		B115A
ヘッダー +Shift キー	入力開始		B115B
ヘッダー +Alt キー	入力開始		B115C
ヘッダー +Ctrl キー	入力開始		B115D

フッター(Footer)設定バーコード(リアルモード HID 通信)

フッターは初期値「無し」です。

機能	状態	バーコード	コード
フッター	無し		A116A

フッターは 0～9、A～F の 2 文字で任意の文字が付加できます。

キーコードについては「付録 2」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例:「!」を付加する場合、以下のようにスキャンします。

「B116B」「1」「E」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
フッター 通常キー	入力開始		B116A
フッター +Shift キー	入力開始		B116B
フッター +Alt キー	入力開始		B116C
フッター +Ctrl キー	入力開始		B116D

レコード毎の付加文字 1 (Termination_1) 設定バーコード

レコード毎の付加文字 1 は初期値「Return(Enter)」です。
「無し」にすることもできます。

機能	状態	バーコード	コード
レコード毎の付加文字 1	Return(Enter) [※]		—
	無し		A021A

※ 一度、他の文字に変更した場合、「B021A」「2」「8」「EOC」で再設定していただくか、出荷状態（初期化）にすることで「Return(Enter)」に戻すことができます。

レコード毎の付加文字 1 は 0～9、A～F の 2 文字で「Return(Enter)」以外の文字が付加できます。
キーコードについては「付録 2」をご覧ください。
設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例:「Tab」を付加する場合、以下のようにスキャンします。
「B021B」「2」「B」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
レコード毎の付加文字 1 通常キー	入力開始		B021A
レコード毎の付加文字 1 +Shift キー	入力開始		B021B
レコード毎の付加文字 1 +Alt キー	入力開始		B021C
レコード毎の付加文字 1 +Ctrl キー	入力開始		B021D

レコード毎の付加文字 2 (Termination_2) 設定バーコード

レコード毎の付加文字 2 は初期値「無し」です。

レコード毎の付加文字 2 は 0～9、A～F の 2 文字で任意の文字が付加できます。

キーコードについては「付録 2」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
レコード毎の付加文字 2	無し		A021B
レコード毎の付加文字 2 通常キー	入力開始		B021E
レコード毎の付加文字 2 +Shift キー	入力開始		B021F
レコード毎の付加文字 2 +Alt キー	入力開始		B021G
レコード毎の付加文字 2 +Ctrl キー	入力開始		B021H

レコード毎の付加文字 3 (Termination_3) 設定バーコード

レコード毎の付加文字 3 は初期値「無し」です。

レコード毎の付加文字 3 は 0～9、A～F の 2 文字で任意の文字が付加できます。

キーコードについては「付録 2」をご覧ください。


設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

機能	状態	バーコード	コード
レコード毎の付加文字 3	無し		A021C
レコード毎の付加文字 3 通常キー	入力開始		B021I
レコード毎の付加文字 3 +Shift キー	入力開始		B021J
レコード毎の付加文字 3 +Alt キー	入力開始		B021K
レコード毎の付加文字 3 +Ctrl キー	入力開始		B021L

＋キー押下時のキーコード送信設定バーコード(リアルモード HID 通信)

＋キー押下時のキーコードは初期値「Eject」です。

「無し」にすることもできます。

機能	状態	バーコード	コード
＋キー押下時のキーコード	無効		AA00A
	有効(Eject)		AA00B

＋キー押下時のキーコードは 0～9、A～F の 2 文字で「Eject」以外の任意の文字が設定できます。

キーコードについては「付録 2」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：＋キー押下時に「#」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「BA00B」「2」「0」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
＋キー押下時のキーコード 通常キー	入力開始		BA00A
＋キー押下時のキーコード +Shift キー	入力開始		BA00B
＋キー押下時のキーコード +Alt キー	入力開始		BA00C
＋キー押下時のキーコード +Ctrl キー	入力開始		BA00D

+キーによるバーコードスキャン設定バーコード(リアルモード HID 通信)

本設定を「有効」にした場合、+キー押下でバーコードをスキャンすることができます。

本設定は「キーコード送信設定」よりも優先されます。



そのため、「+キー押下時のキーコード送信」が「有効」でもキーコードは送信されません。

機能	状態	バーコード	コード
+キーによるバーコードスキャン	無効		AA00C0
	有効		AA00C1

一キー押下時のキーコード送信設定バーコード(リアルモード HID 通信)

一キー押下時のキーコードは初期値「無し」です。

「Eject」にすることもできます。

機能	状態	バーコード	コード
一キー押下時のキーコード	無効		AA01A
	有効(Eject)		AA01B

一キー押下時のキーコードは 0～9、A～F の 2 文字で任意の文字が設定できます。

キーコードについては「付録 2」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 一キー押下時に「\$」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「BA01B」「2」「1」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
一キー押下時のキーコード 通常キー	入力開始		BA01A
一キー押下時のキーコード +Shift キー	入力開始		BA01B
一キー押下時のキーコード +Alt キー	入力開始		BA01C
一キー押下時のキーコード +Ctrl キー	入力開始		BA01D

一キーによるバーコードスキャン設定バーコード(リアルモード HID 通信)

本設定を「有効」にした場合、一キー押下でバーコードをスキャンすることができます。

本設定は「キーコード送信設定」よりも優先されます。



そのため、「一キー押下時のキーコード送信」が「有効」でもキーコードは送信されません。

機能	状態	バーコード	コード
一キーによるバーコードスキャン	無効		AA01C0
	有効		AA01C1

＋およびーキー同時押下時のキーコード送信設定バーコード(リアルモード HID 通信)

＋およびーキー同時押下時のキーコードは初期値「無し」です。

「Eject」にすることもできます。

機能	状態	バーコード	コード
＋およびーキー同時押下時のキーコード	無効		AA02A
	有効(Eject)		AA02B

＋およびーキー同時押下時のキーコードは 0～9、A～F の 2 文字で任意の文字が設定できます。

キーコードについては「付録 2」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。






例: ＋およびーキー同時押下時に「%」を送信する場合、以下のようにスキャンします。

「BA02B」「2」「2」「EOC」












機能	状態	バーコード	コード
＋およびーキー同時押下時のキーコード 通常キー	入力開始		BA02A
＋およびーキー同時押下時のキーコード +Shift キー	入力開始		BA02B
＋およびーキー同時押下時のキーコード +Alt キー	入力開始		BA02C
＋およびーキー同時押下時のキーコード +Ctrl キー	入力開始		BA02D

1 レコード毎のデータ送信ディレイ時間設定バーコード

データ転送の際、1 レコード送るたびにどれだけ待機するかを設定します。

機能	状態	バーコード	コード
1 レコード毎のデータ送信ディレイ時間	無し		A023A0
	100ms		A023A1
	200ms		A023A2
	300ms		A023A3
	500ms		A023A4

キャラクタ間のディレイ時間設定バーコード

機能	状態	バーコード	コード
キャラクタ間のディレイ時間	無し		A024A0
	10ms		A024A1
	20ms		A024A2
	30ms		A024A3
	40ms		A024A4
	50ms		A024A5
	60ms		A024A6
	70ms		A024A7
	80ms		A024A8
	90ms		A024A9
	100ms		A024AA

日英キーボード配列切り替え設定バーコード

以下のバーコードを選択することで英語キーボード配列と日本語キーボード配列を設定できます。
一般的に英語キーボードは iOS、Android で使用され、日本語キーボードは Windows で使用されます。
送信されるキーコードについては「付録 2」をご覧ください。

機能	状態	バーコード	コード
日英キーボード配列切り替え	英語		A013A1
	日本語		A013A2

バーコード内英字の大文字/小文字変換設定バーコード

以下のバーコードを選択することでバーコード内の英字の大文字/小文字を変換することができます。
本設定は英字を含む全ての種類のバーコードタイプに反映されます。

機能	状態	バーコード	コード
バーコード内の英字 大文字/小文字変換	変換無し		A165A0
	全て大文字		A165A1
	全て小文字		A165A2
	大文字を小文字 小文字を大文字 に変換		A165A3

6.2.4 バーコード読取りに関する設定

本項ではバーコード読取りに関する設定についてご説明します。

スキャンモード

機能	状態	バーコード	コード
スキャンモード※	トリガ		A040A0
	連続読取り 1		A040A1
	連続読取り 2		A040A2
	連続読取り 3		A040A3
	連続読取り 4		A040AA

※ スキャンモード

トリガモード

スキャンキーを押すとスキャンを開始します。

スキャンキーを離すか、または、バーコード読取り後にスキャンを停止します。

連続読取りモード

Bluetooth 接続が完了するとスキャンを開始し、1 分経過するとエイマー（赤色 LED 光）が点滅します。

エイマーが点滅した状態でスキャンキーを押すか、または、一度スキャンするとエイマーは再度点灯します。

エイマー点滅中でも、自動電源 OFF 時間経過後に電源 OFF します。

モード毎にバーコード読取りに違いがあります。以下をご覧ください。

連続読取り 1

本モードでは同一バーコードを連続で読取ることはできません。

同一バーコードを読取る場合は、一度他のバーコードを読んでください。

連続読取り 2

本モードでは同一バーコードを連続で読取ることはできません。

同一バーコードを読取る場合は、一度エイマーをバーコードから 1～2 秒程度外してください。

連続読取り 3

本モードは同一バーコードを連続で読取ることが可能です。

連続読取り 4

本モードでは同一バーコードを連続で読取ることはできません。

同一バーコードを読取る場合は、一度エイマーをバーコードから 1～2 秒程度外してください。

なお、本モードはスキャンキーを押してもスキャンは停止しません。

1 次元反転バーコード読取り

機能	状態	バーコード	コード
1 次元反転バーコード読取り	通常バーコードのみ		A098A0
			
	反転バーコードのみ		A098A1
			
	自動		A098A2
			



コード ID キャラクタ転送

バーコードタイプ毎に読取ったバーコードの先頭に AIM コードまたは Symbol コードキャラクタが付加できます。これにより、バーコードの分類が可能になります。





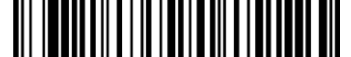






コード ID キャラクタ転送の詳細については「付録 3」をご覧ください。

なお、Symbol コードキャラクタについては任意の値に変更が可能です。





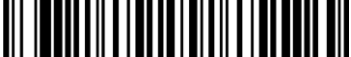






設定については、「6.2.5 Symbol コードに関する設定」をご覧ください。

機能	状態	バーコード	コード
コード ID キャラクタ転送	無効		A112A0
	AIM コード		A112A1
	Symbol コード		A112A2














UPC-A

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A	無効		A042A0
	有効		A042A1
UPC-A チェックデジット転送	無効		A052A0
	有効		A052A1
UPC-A から EAN-13 への変換	無効		AB01A0
	有効		AB01A1
UPC-A アドオン	無効		AB06A0
	2 桁		AB06A1
	5 桁		AB06A2
	2 桁または 5 桁		AB06A3
	全て		AB06A4








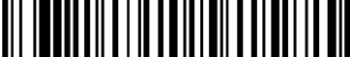
UPC-E

機能	状態	バーコード	コード
UPC-E	無効		A043A0
	有効		A043A1
UPC-E チェックデジット転送	無効		A053A0
	有効		A053A1
UPC-E から UPC-A への変換	無効		A058A0
	有効		A058A1
UPC-E アドオン	無効		AB12A0
	2 桁		AB12A1
	5 桁		AB12A2
	2 桁または 5 桁		AB12A3
	全て		AB12A4

EAN-13

機能	状態	バーコード	コード
EAN-13	無効		A046A0
	有効		A046A1
EAN-13 チェックデジット転送	無効		A172A1
	有効		A172A0
EAN-13 から ISBN/ISSN への変換	無効		AB14A0
	有効		AB14A1
EAN-13 アドオン	無効		AB18A0
	2 桁		AB18A1
	5 桁		AB18A2
	2 桁または 5 桁		AB18A3
	全て		AB18A4
定期刊行物コード(雑誌) ※本設定を有効にした場合、「EAN-13 アドオン」設定に関わらず、491～始まる 13 桁+アドオン 5 桁のバーコードが読取り可能となります 5 桁のアドオンコードが読み取れるまでスキャン動作は継続します	無効		AB18B0
	有効		AB18B1

EAN-8

機能	状態	バーコード	コード
EAN-8	無効		A045A0
	有効		A045A1
EAN-8 チェックデジット転送	無効		AB20A0
	有効		AB20A1
EAN-8 アドオン	無効		AB24A0
	2 桁		AB24A1
	5 桁		AB24A2
	2 桁または 5 桁		AB24A3
	全て		AB24A4

Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39	無効		A071A0
	有効		A071A1
Code 39 チェックデジット検証※ ¹	無効		A076A0
	有効		A076A1
Code 39 チェックデジット転送※ ²	無効		A077A0
	有効		A077A1
Code 39 フルアスキー変換	無効		A078A0
	有効		A078A1
Code 39 スタート・ストップキャラクタ転送	無効		AB26A0
	有効		AB26A1

※1 Code 39 チェックデジット検証

有効とした場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります

※2 Code 39 チェックデジット転送

チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます

NW7 (Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7 (Codabar)	無効		A099A0
	有効		A099A1
NW7 (Codabar) スタート・ストップキャラクタ除去	無効		A102A0
	有効		A102A1
NW7 (Codabar) チェックデジット検証※1	無効		AB31A0
	有効		AB31A1
NW7 (Codabar) チェックデジット転送※2	無効		AB32A0
	有効		AB32A1
NW7 (Codabar) スタート・ストップキャラクタ設定	ABCD/ABCD		AB34A0
	abcd/abcd		AB34A1
	abcd/tn*e		AB34A2



※1 NW7 (Codabar) チェックデジット検証

有効とした場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります

※2 NW7 (Codabar) チェックデジット転送

チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます

Code 128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128	無効		A065A0
	有効		A065A1
GS1-128	無効		A067A0
	有効		A067A1

ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2 of 5)	無効		A085A0
	有効		A085A1
ITF チェックデジット検証※ ¹	無効		A087A0
	有効		A087A1
ITF チェックデジット転送※ ²	無効		A088A0
	有効		A088A1













※¹ ITF チェックデジット検証

有効とした場合、チェックデジットが付加されていないバーコードは読めなくなります

※² ITF チェックデジット転送

チェックデジット検証が有効なときのみ効果が表れます

GS1 DataBar

機能	状態	バーコード	コード
GS1 DataBar Omnidirectional	無効		A108A0
	有効		A108A1
GS1 DataBar Limited	無効		A109A0
	有効		A109A1
GS1 DataBar Expanded	無効		A110A0
	有効		A110A1
GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション識別子転送	無効		A170A1
	有効		A170A0
GS1 DataBar Limited アプリケーション識別子転送	無効		A174A1
	有効		A174A0
GS1 DataBar Expanded アプリケーション識別子転送	無効		A175A1
	有効		A175A0

機能	状態	バーコード	コード
GS1 DataBar から EAN-13 への変換	無効		A111A0
	有効		A111A1

6.2.5 Symbol コードに関する設定

Symbol コードキャラクタは 0~9、A~F の 2 文字で初期値以外の任意の文字が設定できます。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: EAN-13 の Symbol コードキャラクタを「E」にする場合、以下のようにスキャンします。

「B179A2」「4」「5」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A (41h)	入力開始		B179A0
UPC-E (41h)	入力開始		B179A1
EAN-13 (41h)	入力開始		B179A2
ISBN/ISSN (58h)	入力開始		B179AJ
EAN-8 (41h)	入力開始		B179A3
Code 39 (42h)	入力開始		B179A4
NW7 (Codabar) (43h)	入力開始		B179A5
Code 128 (44h)	入力開始		B179A7
GS1-128 (4Bh)	入力開始		B179AF
ITF (Interleaved 2 of 5) (46h)	入力開始		B179A8
GS1 DataBar (52h)	入力開始		B179AE

6.2.6 GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコードの変換に関する設定

アプリケーション識別子(AI)毎に括弧「()」を付加する設定バーコード

GS1-128 は、商品コード、有効期限、数量やロット番号等のデータの先頭にアプリケーション識別子(AI)があります。それにより、データの範囲や意味を解釈することができます。

以下のバーコードをスキャンすることで AI 毎に「()」を付加して表示することができます。

機能	状態	バーコード	コード
GS1-128 AI 毎に括弧「()」を付加	()を付加しない		A168A0
	()を付加する		A168A1

可変長区切り文字の変換設定バーコード

GS1-128 では、数量やロット番号のような可変長データを取り扱います。しかし、データの区切りが分からないと次の AI を見つけることができません。

そのため、GS1-128 は可変長データの終端に区切り文字としてシンボルキャラクタの FNC1 を挿入するという仕様になっています。

本機は、ホストデバイスに対して可変長データの終端を知らせるため、FNC1 の位置に可変長区切り文字を挿入して出力します。

以降の設定にて、可変長区切り文字を任意の文字に変換することができます。

SPP 通信の場合

SPP 通信の場合、可変長区切り文字は初期値「GS(1Dh)」です。

0~9、A~F の 2 文字で「GS(1Dh)」以外の任意の値の設定することができます。

ASCII コードについては「付録 1」をご覧ください。

設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：可変長区切り文字を「SP(スペース)」に変更する場合、以下のようにスキャンします。

「B123A」「2」「0」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字	有り (1Dh)		A123A
	無し		A123B
	入力開始		B123A

HID 通信の場合

HID 通信の場合、可変長区切り文字は初期値「/」です。
「無し」にすることもできます。






機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字	/		
	無し		A122A

可変長区切り文字は 0～9、A～F の 2 文字で「/」以外の任意の文字が設定できます。
キーコードについては「付録 2」をご覧ください。
設定する際、英数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：可変長区切り文字を「#」に変更する場合、以下のようにスキャンします。
「B122B」「2」「0」「EOC」

機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字 通常キー	入力開始		B122A
可変長区切り文字 +Shift キー	入力開始		B122B
可変長区切り文字 +Alt キー	入力開始		B122C
可変長区切り文字 +Ctrl キー	入力開始		B122D

可変長区切り文字(GS キャラクタ)送信後のディレイ時間設定バーコード


機能	状態	バーコード	コード
可変長区切り文字送信後のディレイ時間	無し		A125A0
	100ms		A125A1
	200ms		A125A2
	300ms		A125A3
	500ms		A125A4

6.2.7 読取り桁数に関する設定

読取るバーコードの桁数を指定することで、誤読を防ぐことができます。

桁数指定の方法により、読めないと判定される可能性もありますので、ご使用の前に読取る桁数について十分にご確認をお願いいたします。

Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39 桁数指定	1～55 桁		B075D

Code 39 の読取り桁数は 0～9 の 4 文字で任意の桁数を指定することができます。

読取り桁数を下限と上限、それぞれ 01～55 桁で指定します。56 桁以上は設定できません。

設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：5～15 桁のバーコードのみ読取る場合、以下のようにスキャンします。

4 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「B075D」「0」「5」「1」「5」「EOC」

読取りコード桁数のご注意

チェックデジットが付加されているバーコード

チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データ+チェックデジットの桁数を指定してください。

チェックデジットが付加されていないバーコード


チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データの桁数を指定してください。

ただし、チェックデジット検証が有効の場合、桁数に関わらず読取りができません。

チェックデジットが付加されていないバーコードを読取る場合はチェックデジット検証を無効に設定してください。

なお、スタート・ストップキャラクタ転送が有効の場合、桁数を+2してください。

NW7 (Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7 (Codabar) 桁数指定	1～55 桁		B100D

NW7 (Codabar) の読取り桁数は 0～9 の 4 文字で任意の桁数を指定することができます。
読取り桁数を下限と上限、それぞれ 01～55 桁で指定します。56 桁以上は設定できません。
設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 5～15 桁のバーコードのみ読取る場合、以下のようにスキャンします。

4 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「B100D」「0」「5」「1」「5」「EOC」

読取りコード桁数のご注意

チェックデジットが付加されているバーコード

チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データ+チェックデジットの桁数を指定してください。

チェックデジットが付加されていないバーコード


チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データの桁数を指定してください。

ただし、チェックデジット検証が有効の場合、桁数に関わらず読取りができません。

チェックデジットが付加されていないバーコードを読取る場合はチェックデジット検証を無効に設定してください。

なお、スタート・ストップキャラクタ除去が有効の場合、必要に応じて桁数を－2 してください。

Code 128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128 桁数指定	1～55 桁		B066D

Code 128 の読取り桁数は 0～9 の 4 文字で任意の桁数を指定することができます。
読取り桁数を下限と上限、それぞれ 01～55 桁で指定します。56 桁以上は設定できません。
設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：10～25 桁のバーコードのみ読取る場合、以下のようにスキャンします。


4 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「B066D」「1」「0」「2」「5」「EOC」

読取りコード桁数のご注意

指定した桁数以外の Code 128 バーコードを読取ろうとした場合、一瞬でスキャンが中断します。
”読取り成功”とお間違えのないようご注意ください。

ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2 of 5) 桁数指定	4～55 桁		B086D

ITF (Interleaved 2 of 5) の読取り桁数は 0～9 の 4 文字で任意の桁数を指定することができます。
読取り桁数を下限と上限、それぞれ 04～55 桁で指定します。3 桁以下、56 桁以上は設定できません。
設定する際、数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 14～16 桁のバーコードのみ読取る場合、以下のようにスキャンします。

4 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「B086D」「1」「4」「1」「6」「EOC」

読取りコード桁数のご注意

チェックデジットが付加されているバーコード

チェックデジット転送が有効の場合、データ+チェックデジットの桁数を指定してください。

チェックデジット転送が無効の場合、必要に応じてデータの桁数を－1した値を指定してください。

チェックデジットが付加されていないバーコード

チェックデジット転送の有効/無効に関わらず、データ+チェックデジットの桁数を指定してください。

ただし、チェックデジット検証が有効の場合、桁数に関わらず読取りができません。

チェックデジットが付加されていないバーコードを読取る場合はチェックデジット検証を無効に設定してください。

6.2.8 先頭桁切捨ておよび後尾桁切捨て設定

先頭桁切捨て：指定した数だけ読取ったバーコードの先頭の桁数を切捨てます。

後尾桁切捨て：指定した数だけ読取ったバーコードの後尾の桁数を切捨てます。

UPC-A

機能	状態	バーコード	コード
UPC-A 先頭桁切捨て	入力開始		BB03A
UPC-A 後尾桁切捨て	入力開始		BB04A

UPC-A の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～9、A～F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。

00～0D(0～13)桁で指定します。0E(14)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB03A」「0」「1」「EOC」

UPC-E

機能	状態	バーコード	コード
UPC-E 先頭桁切捨て	入力開始		BB09A
UPC-E 後尾桁切捨て	入力開始		BB10A

UPC-E の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～8 の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。

00～08(0～8)桁で指定します。09(9)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例：先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB09A」「0」「1」「EOC」

EAN-13

機能	状態	バーコード	コード
EAN-13 先頭桁切捨て	入力開始		BB15A
EAN-13 後尾桁切捨て	入力開始		BB16A

EAN-13 の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～9、A～F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。
00～0D(0～13)桁で指定します。0E(14)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB15A」「0」「1」「EOC」

EAN-8

機能	状態	バーコード	コード
EAN-8 先頭桁切捨て	入力開始		BB21A
EAN-8 後尾桁切捨て	入力開始		BB22A

EAN-8 の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～8 の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。
00～08(0～8)桁で指定します。09(9)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB21A」「0」「1」「EOC」

Code 39

機能	状態	バーコード	コード
Code 39 先頭桁切捨て	入力開始		BB27A
Code 39 後尾桁切捨て	入力開始		BB28A

Code 39 の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～9、A～F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。
00～32(0～50)桁で指定します。33(51)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB27A」「0」「1」「EOC」

NW7(Codabar)

機能	状態	バーコード	コード
NW7(Codabar) 先頭桁切捨て	入力開始		BB36A
NW7(Codabar) 後尾桁切捨て	入力開始		BB37A

NW7(Codabar)の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～9、A～F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。
00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB36A」「0」「1」「EOC」

Code 128

機能	状態	バーコード	コード
Code 128 先頭桁切捨て	入力開始		BB51A
Code 128 後尾桁切捨て	入力開始		BB52A

Code128 の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～9、A～F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。
00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。

2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB51A」「0」「1」「EOC」

ITF (Interleaved 2 of 5)

機能	状態	バーコード	コード
ITF (Interleaved 2 of 5) 先頭桁切捨て	入力開始		BB55A
ITF (Interleaved 2 of 5) 後尾桁切捨て	入力開始		BB56A

ITF (Interleaved 2 of 5) の先頭桁切捨て・後尾桁切捨ての桁数は 0～9、A～F の 2 文字で任意の 16 進数で設定できます。

00～3C(0～60)桁で指定します。3D(61)桁以上は設定できません。

設定する際の数字バーコードは「6.2.10 英数字バーコード」をご使用ください。

例: 先頭 1 桁を切捨てる場合、以下のようにスキャンします。



2 文字未満で「EOC」を読んだときは読取り継続となります。

「BB55A」「0」「1」「EOC」

6.2.9 初期化および無効化に関する設定

設定初期化(出荷状態に戻す)設定バーコード

以下のバーコードを読み取ることで設定の初期化を行います。

機能	バーコード
設定初期化	 または 

バーコード読み取り無効化設定バーコード

読み取り無効化のバーコードを読み取ることで設定バーコード以外の全てのバーコード体系の読み取りが無効になります。



その他、チェックデジット転送等のバーコード読み取りに関する詳細な設定は全て出荷状態(初期値)に戻ります。

バーコード読み取りに関する初期値は「6.1 出荷時の設定(初期値)」を参照してください。










機能	バーコード	コード
バーコード読み取り無効化		A167A0



























6.2.10 英数字バーコード



























英数字の入力に使用します。

機能	バーコード	コード
入力終了※		EOC
入力中止		CL

※ 各設定の指定文字数未満で「EOC」を読んだ場合、読取り継続となります。

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
数字 (16 進数)		0		1
		2		3
		4		5
		6		7
		8		9
		A		B
		C		D
		E		F

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
英字 (大文字)		A		B
		C		D
		E		F
		G		H
		I		J
		K		L
		M		N
		O		P
		Q		R
		S		T
		U		V
		W		X
		Y		Z

入力文字	バーコード	パラメータ	バーコード	パラメータ
英字 (小文字)		a		b
		c		d
		e		f
		g		h
		i		j
		k		l
		m		n
		o		p
		q		r
		s		t
		u		v
		w		x
		y		z

付録 1

ASCII コードについて

以下の状態時、設定により任意の ASCII コードが送信可能です。

動作モード	通信	機能 または 状態	初期値
リアルモード	SPP	プリフィックス	STX(02h)
		ヘッダー	無し
		フッター	無し
		サフィックス	ETX(03h)
		+キー押下	+(2Bh)
		-キー押下	-(2Dh)
		+および-キー同時押下※	&(26h)
		Symbol コード	-
		GS1-128 可変長区切り文字	GS(1Dh)
	HID	Symbol コード	-

※ 初期状態は無効です。有効になった際に各 ASCII コードが送信されます。

以下が ASCII コードです。こちらを参考に設定を行ってください。

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*		J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

付録 2

キーコードについて

以下の状態時、設定により任意のキーコードが送信可能です。

動作モード	通信	機能 または 状態	初期値
リアルモード	HID	ヘッダー	無し
		フッター	無し
		レコード毎の付加文字 1	Return(Enter)
		レコード毎の付加文字 2	無し
		レコード毎の付加文字 3	無し
		+キー押下	有効(Eject)
		-キー押下	無効
		+および-キー同時押下	無効
		GS1-128 可変長区切り文字	/

英語キーボードおよび日本語キーボードの代表的なキーコードを次ページ以降に示します。
こちらを参考に設定を行ってください。

英語キーボード(iOS、Android 端末等) 通常入力

	0	1	2	3	4	5	6
0		m	3]	F7	Left	8
1		n	4	\	F8	Down	9
2		o	5		F9	Up	0
3		p	6	;	F10	Num Lock	.
4	a	q	7	'	F11	/	
5	b	r	8		F12	*	
6	c	s	9	,	Print Screen	-	
7	d	t	0	.	Scroll Lock	+	
8	e	u	Enter	/	Pause	Enter	
9	f	v	ESC	Caps Lock	Insert	1	
A	g	w	Back Space	F1	Home	2	
B	h	x	Tab	F2	Page Up	3	
C	i	y	SP	F3	Delete	4	
D	j	z	-	F4	End	5	
E	k	1	=	F5	Page Down	6	
F	l	2	[F6	Right	7	

例: z = 1Dh

英語キーボード(iOS、Android 端末等) Shift 入力

	0	1	2	3	4	5	6
0		M	#	}	F7	Left	Up
1		N	\$		F8	Down	Page UP
2		O	%	~	F9	Up	Insert
3		P	^	:	F10	Clear	Delete
4	A	Q	&	“	F11	/	
5	B	R	*		F12	*	
6	C	S	(<	Print Screen	-	
7	D	T)	>	Scroll Lock	+	
8	E	U	Enter	?	Pause	Enter	
9	F	V	ESC	Caps Lock	Insert	End	
A	G	W	Back Space	F1	Home	Down	
B	H	X	Tab	F2	Page Up	Page Down	
C	I	Y	SP	F3	Delete	Left	
D	J	Z	_	F4	End		
E	K	!	+	F5	Page Down	Right	
F	L	@	{	F6	Right	Home	

例: & = 24h

日本語キーボード(Windows 端末等) 通常入力

	0	1	2	3	4	5	6
0		m	3	[F7	Left	8
1		n	4]	F8	Down	9
2		o	5		F9	Up	0
3		p	6	;	F10	Num Lock	.
4	a	q	7	:	F11	/	
5	b	r	8		F12	*	
6	c	s	9	,	Print Screen	-	
7	d	t	0	.	Scroll Lock	+	
8	e	u	Enter	/	Pause	Enter	
9	f	v	ESC	Caps Lock	Insert	1	
A	g	w	Back Space	F1	Home	2	
B	h	x	Tab	F2	Page Up	3	
C	i	y	SP	F3	Delete	4	
D	j	z	-	F4	End	5	
E	k	1	^	F5	Page Down	6	
F	l	2	@	F6	Right	7	

例: z = 1Dh

日本語キーボード(Windows 端末等) Shift 入力

	0	1	2	3	4	5	6
0		M	#	{	F7	Left	Up
1		N	\$	}	F8	Down	Page UP
2		O	%		F9	Up	Insert
3		P	&	+	F10	Num Lock	Delete
4	A	Q	'	*	F11	/	
5	B	R	(F12	*	
6	C	S)	<	Print Screen	-	
7	D	T		>	Scroll Lock	+	
8	E	U	Enter	?	Pause	Enter	
9	F	V	ESC	Caps Lock	Insert	End	
A	G	W	Back Space	F1	Home	Down	
B	H	X	Tab	F2	Page Up	Page Down	
C	I	Y	SP	F3	Delete	Left	
D	J	Z	=	F4	End		
E	K	!	~	F5	Page Down	Right	
F	L	“	`	F6	Right	Home	

例: & = 23h

付録 3

コード ID キャラクタ転送について

コード ID キャラクタ転送を設定することで、読取ったバーコードの先頭に Symbol コードまたは AIM コードキャラクタを付加できます。

Symbol コード

Symbol コードを設定した場合、読取ったバーコードの先頭に Symbol コードキャラクタが付加されます。各バーコードの Symbol コードキャラクタの初期値は以下になります。

コードキャラクタ	バーコードタイプ
A	UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8
B	Code 39
C	NW7 (Codabar)
D	Code 128
K	GS1-128
F	ITF (Interleaved 2 of 5)
R	GS1 DataBar
X	ISBN/ISSN

Symbol コードキャラクタについては任意の値に変更が可能です。
設定については、「6.2.5 Symbol コードに関する設定」および「付録 1」をご覧ください。

AIM コード

AIM コードを設定した場合、読取ったバーコードの先頭に AIM コードキャラクタが付加されます。各 AIM コードは、3 つの文字列で構成されます。

]	フラグキャラクタ (5Dh)
c	コードキャラクタ
m	修飾子

各バーコードのコードキャラクタは以下になります。

コードキャラクタ	バーコードタイプ
E	UPC、EAN、ISBN/ISSN
A	Code 39
F	NW7 (Codabar)
C	Code 128/GS1-128
I	ITF (Interleaved 2 of 5)
e	GS1 DataBar

各バーコードの修飾子は以下になります。

バーコードタイプ	オプション	状態
UPC/EAN	0	UPC-E、UPC-A、EAN-13 の標準バーコードの場合
	3	UPC-E、UPC-A および EAN-13 にて +2 桁または 5 桁のアドオンの場合
	4	EAN-8 の標準バーコードまたは +2 桁または 5 桁のアドオンの場合
	例: 12345670 をスキャンすると]E412345670 となります	
Code 39	1	チェックデジット転送有効の場合
	3	チェックデジット転送無効の場合
	5	フルアスキー変換有効の場合
	例: チェックデジット検証有効 + チェックデジット転送有効の設定で 1234567S をスキャンすると]A11234567S となります	
NW7 (Codabar)	1	常に 1 となります
	例: 12345678 をスキャンすると]F112345678 となります	
Code 128 GS1-128	0	FNC1 が START コード直後にない場合
	1	FNC1 が START コード直後にある場合
	例: <FNC1>12345678 をスキャンすると]C112345678 となります	
ITF (Interleaved 2 of 5)	1	チェックデジット転送有効の場合
	3	チェックデジット転送無効の場合
	例: チェックデジット検証有効 + チェックデジット転送有効の設定で 1234567890123452 をスキャンすると]I11234567890123452 となります	
GS1 DataBar	0	常に 0 となります
	例: (01)01234567890128 をスキャンすると]e00101234567890128 となります	